

ORATOWN

Public Relations

10

OCTOBER
2012



MACHIKADO REPORT No.191 街角特派員レポート

自分が輝ける瞬間 — My life style

特集 邑楽町平和展 「戦争の中の子どもたち」

Closeup クローズアップ 平成 23 年度決算報告

9月8日、町立図書館で第29回邑楽町平和展が行われました。平和への願いを込めて風船飛ばしが行われ、親子で飛ばす姿も見ることができました(特集は10~13ページ)。

「特有の音色と馬が草原を走るような軽快なリズム。すぐに馬頭琴の魅力に引き込まれました」。20年前にモンゴルを訪れたのがきっかけで馬頭琴を始めた岩崎初江さん。「ゲルというモンゴル独自のテント住居の中で聴いた現地の人による演奏を、今でも忘れられません。自分に合う楽器を見つけて心が弾み、ぜひ自分も演奏してみたいと思いました」と当時を振り返ります。

「馬頭琴は、一弦を抑えて弓を引き、和音などの音色を表現する弦楽器。独特の指使いをするので、慣れるまで本当に苦労しました。曲に仕上がるまで長い努力も必要でした」と語ります。モンゴル人の先生



午後の風下がり、馬頭琴を演奏する岩崎さん。その重厚な音色は、さわやかな風によってモンゴルの草原のように広く響きわたっていました。

私の生きがいトーク1
想い

馬頭琴に魅せられて
岩崎初江さん(秋妻・17区)
Mitsuru Iwakashi

に教わりながら、時間を見つけては練習に打ち込んだそうです。岩崎さんは、埼玉県行田市の小学校へ演奏しに行ったこともあり、「私の演奏を聴いて、担任の女性の先生が涙を流して感動してくれました。自分の演奏で人に感動を与えることができるなんて…。音楽の力に改めて感動しました」と岩崎さん。「私が馬頭琴を長く続けられたのもやっぱり好きだからです。40歳を過ぎて、打ち込めるものに出会えるとは思いませんでした。今ではこの楽器をやっていないと私じゃないという感じがします」。馬頭琴は、岩崎さんにとって生活の一部になっています。



馬頭琴は、モンゴル語ではモリンホルと呼ぶ。「馬の楽器」という意味。モンゴルの遊牧民の間に古くから伝わる二弦楽器。弦は馬のしっぽの毛を束ねて作られており、同じく馬の毛を張って作られた弓を使って演奏する。草原のチェロとも呼ばれる。

※小学生の国語の教科書に掲載された「スーホの白い馬」に登場する楽器としても馴染みがある。



今ある自分の生活をどう楽しむか。一度しかない自分の人生をどう楽しむか。皆さんは考えたことがありますか。

私は26年間、小学校の教師をしていました。そんな時フラワーアレンジと出会ったのです。「アレンジの素質があるよ！あんた」と仲間に言われたことが、きっかけで、まさかお花屋さんになるなんて、当時は思ってもみませんでした。その時は「ぶたもおだてりや木に登る」ということで、そのままフラワーアレンジの世界に足を踏み入れました。お花はもともと好きでしたから、担任していた6年生を卒業させてから退職を決意。不安とかは、まったくありませんでした。お花屋さんとしての修業としてアレンジの勉強、毎日斬新で魅力的なデザインに心うたれていましたね。

資格取得後は、フラワーアレンジの素晴らしさを早くたくさんの人に伝えたいということで、邑楽町公民

自分が輝ける瞬間

My life style

街角特派員の高橋敏子さんは、花屋を営む傍らフラワーアレンジの講師もしています。趣味の分野では、よさこいソーラン、合唱など現在幅広く活動中。今回、フラワーアレンジやサークル活動などを通して出会った人々を紹介しながら、「自分が輝ける瞬間」についてレポートします。

街角特派員レポート



Toshiko Takahashi
街角特派員 高橋敏子 (谷中蛸沼・11区)

館で講習会を始めました。その後は公民館祭りや町民文化祭でフラワーアレンジの体験コーナーも開催。公民館での活動が縁でサークルなどにも所属しています。3年前からは、フラワーアレンジをさらに発展させ、パンを素材に独自に考案した「パンアレンジ」も行っています。教室も開催して、現在生徒もいます。

公民館で活動し始めて、すでに20年近くになりますが、たくさんの人たちと出会い、輝いている人にも出会いました。なんてステキな人生を過ごしているのじゃないかと感じる人もいます。

今回の街角特派員レポートでは、趣味や楽しみを持って自分の生活に彩りを添えている人々を紹介しながら、それぞれの「自分が輝ける瞬間」についてレポートします。

このレポートを読んだ人が、もう一度自分の生活を振り返り、「自分が輝ける瞬間」を見つけてくれるきっかけになれば幸いです。

街角特派員とは、街角特派員は、読者の皆さんの代表です。毎年公募で決定。一人が年2回ずつ、「広報おうち」にレポートを掲載します。町づくりへの意見や気になる事業の進捗状況、または自分が皆さんにアピールしたいことなど、突撃取材と顔に衣着せぬ直言で、皆さんの「そこが知りたい」に答えます。

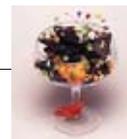
パンアレンジの世界



作品名「祈り」

高橋さんの考案したパンアレンジとは？

高橋さんはフラワーアレンジをさらに独創的に発展させた「パンアレンジ」を考案。パンと花、それと日常的にあるものを組み合わせてアレンジするといふのです。ときには本物のパンを使い、食べながらちぎりながら作品を作ります。完成すると写真に記録して、その日のうちに食べてしまうそうです。三年前、ベルギー大使館開催の作品展がきっかけで、独創的なアレンジが生まれたといえます。ヨーロッパでも高い評価を受けているパンアレンジ。今年、モンゴル国際大学の美術館にも展示され、学生の前で授業する機会にも恵まれました。



作品名「語らい」

皆さんを勇気づける作品へ

被災地の日も早い復興を祈り作り上げた作品「祈り」。写真は2011年12月21～25日、岩手県民会館で開催された「東日本復興祈願・芸術クリスマス展」のようすです。



喜びと生きがいを感じられる時間 ■ 楽しむが輝けるマイライフスタイル ■

伝える喜びと楽しむ心

私の生きがいトーク2
幸せ時間

自分の技術を皆さんに伝えることを喜びにしている人。毎週の教室を大切な人と楽しむ人。人それぞれに喜びと生きがいを感じられる貴重な時間が流れています。こうした生きがいづくりが、幸せづくりに結びつく。二人のかたにお話をうかがいました。

「皆さんに必要とされるから、長く続けてこられたのだと思います」。中野紺会の代表を務める小久保しず子さん。おうち中央公園の花壇の管理などを手がけるボランティア「フラワーレンズ」代表や、前原公民館などで行われる「ふれあいサロン」の活動。さらには町文化協会の役員を務めるなど、幅広く活躍しています。



布ぞうりの作り方を教える小久保さん。他にも公民館などで数多くの講師を務めます

藍染めを今に伝える 小久保しず子さん(前原・4区)

Shizuko Kubo

「紺会の会員や、地区のふれあいサロンのメンバーを自宅に呼んで藍染めをします。私たちがするのとは絞りに絞ったところが白くなり模様となります。各自思い思いの輪ゴムや洗濯ばさみで布を絞って染めに入ります。着なくなった洋服などを染め上げるとリフォームにもつながり、自分だけの藍染めの洋服に生まれ変わります。」

生地によって、染めの回数

なども変わってくるそうです。藍色の色合いも違ってくると思います。「鮮やかな藍色がこの染め物の醍醐味。どんな色合いに仕上がるか、生地を染料に入れる最適な回数は...などと考えながら染め上げていきます。納得のいく藍色がでたときは、やっぱりうれしいですね。」

皆さんにアドバイスをしながら、ときには染め上げを手伝い、今も忙しく多方面で活動している小久保さん。「皆さんが喜んでくれるなら、元氣なうちは続けていきたいと思っています」。頼りにされる忙しい日々は続きそうです。



染め上がった「きんちゃく」



染め上げ前の「きんちゃく」

※染めて洗ってを繰り返すそうです。生地によって回数が変わるといいます。

参加者の声

きれいに染め上がりました。私の自信作です



染める 藍染めの工程



ていねいに洗う



干して乾かす

「孫娘と一緒に公民館の書道クラブに通うのが今一番の楽しみです。スラスラと半紙に筆を滑らせる添田美津江さん。「祝儀袋などに名前を書くときに、やっぱりきれいな筆文字の方が

孫娘と書道を楽しむ 添田美津江さん(前瀬戸宿・8区)

Mitsue Arita

いいですよ。公民館に書道クラブがあったので、これを機会に書習おうと思って始めました」と語ります。

現在、小学校3年生になる孫娘の理陽さんを誘って、一緒に邑染町書道クラブに通っています。ただ一人の小学生理陽さんは、クラブでもアイドル的存在。皆さんからやさしい応援を受けながら、書を楽しんでいます。「孫と切磋琢磨しながら書かうまくなるように練習しています。頑張れば

昇級できるのも励みになりますね。何より集中力を高めて書かないと、思いどおりの書にはならないです」と添田さん。空いた時間を利用して練習するようにしているそうです。

現在の目標は、掛け軸に挑戦すること。「これからは孫と一緒に書が続けていきたいです。自分が楽しいと思つたことが一番ですね」と添田さんは語ります。集中して書き終えた後に、笑顔を見せました。



添田さんの書道歴は5年。この日も孫娘と一緒に半紙に筆を滑らせていました。もつと練習して掛け軸に挑戦するそうです

書道クラブに通う二人。今日も真剣な眼差しを書き向けます。



真剣に書に向き合う

蒔田理陽さん(前瀬戸宿・8区)



添田美津江さん(写真左)と孫娘の蒔田理陽さん。理陽さんは、書道を始めて1年4か月がたちました



私の生きがいトーク3

出会い

今もこれからも自分が輝くために ■ 趣味で華やくマイライフスタイル ■

私の生活を彩る趣味

自分にあった趣味を見つけた人は、たくさん楽しいことや、おもしろい発見があります。偶然とも必然とも感じられる趣味への出会いが、ときにその人の人生を変えていきます。興味のあることに思い切って飛び込めば、日常に彩りが加わる…はじめたばかりの人、面白みが増している人、極めようとする人。いま熱中する姿で輝く、5人のかたにお話を聞きました。



皆さんとは和やかな中でインタビュー



小島和子さん (新中野・33区)
Kazuko Kojima

●小島さんの所属している「邑楽町民合唱団」は、邑楽町公民館まつり、邑楽町民文化祭などで、心のこもった華やかな歌声を毎年披露しています。

みんなで歌声と心を合わせ
コンサートに臨みたいですよ。



「高ききれいな歌声を出せるのが今の課題です。3年4か月前から邑楽町民合唱団でソプラノ担当として歌声を響かせている小島和子さん。もともとと歌うことが好きだったこと、趣味をひとつ持たないと、合唱団のメンバーに加わりませんでした。「みんなで心を合わせて歌う機会がうれしいです。練習した分、多くの人に聴いてもらいたいですね。私たちの歌声を聴いて元気になってもらうと、さらにうれしいです」と語ります。「声を出すとスッキリするし、生活も活性化します。コンサートで歌声を披露すると華やいだ気分になります。好きな合唱だから長く続けていきたいですね。これからハヤリティコンサートなども開催していきたいです」と小島さん。晴れやかな表情で歌声を響かせていました。



↑担当パートごとに別れた一人ひとりの歌声が調和したとき、美しいハーモニーを醸し出します



富樫克依さん (藤川・16区)
Yoshie Togashi

●富樫さんは、「よさこいおうら愛好会」に所属して、よさこいソーランに打ち込み毎週汗を流しています。手芸なども長くたしなんでいます。

今では、よさこいソーランが私の生きがいになっています。



「よさこいソーランと出会って、いなくなったら、暗くふさぎ込んだ生活を送っていたかもしれない。看護師をしていた富樫克依さん。病氣のご主人を介護するために仕事を辞めました。ご主人が他界した後は、暗く家の中でふさぎ込むことが多かったといいますが、友人に誘われて始めたよさこいソーランが転機となり、それからは積極的にサークル活動をするようになったそうです。「周りの人たちが親切で、今ではよさこいは生きがいになっています。上手に踊れたとて喜びが最高です。ずっと続けていきたいですね。お友達も増えて毎回参加するのが楽しみです」「楽しくて毎日が充実しています」と語ります。

人と人とのつながりを大切にしながら、踊りの練習にも一層熱が入ります。



↑炎天下のおうら祭り。暑さにも負けずに一生懸命メンバーと「よさこいソーラン」を踊りました



森田さか子さん (十三坊塚・6区)
Sayako Morita

●「押し花教室」はメンバーの都合のよい日を選んで、毎月開催しています。森田さんも自分の時間に合わせて、教室で押し花を楽しむ一人です。

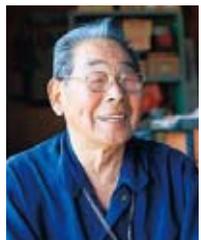
奥が深くて難しいですが根気よく頑張りたいですよ。



押し花をしている友達からプレゼントされた作品に心惹かれて、押し花教室に通う森田さか子さん。仕事と家事の傍ら作品作りに打ち込んでいます。作品作りは思っていたより大変だといいますが、構想を練って、キャンパスの花の配置や、組み合わせを考え、奥行きを出さないと立体感が出ないので、奥が深く難しいそうです。「苦労した分、きれいな作品にできあがったときが、とてもうれしいです。お気に入りの作品は、飾ってあります」と森田さん。「自分の作品を褒められると、恥ずかしいけれど、やっぱり励みになります。何か自分で楽しめるものがひとつでもあるといいですね。今後も続けていきたいです」と語ります。「今度は、野の花のフルツバスケットに挑戦したい」と意欲を見せていました。



↑根気のいる作品作りを黙々と進めます。花の配置や、組み合わせを考えながら打ち込んでいます



水沼宗作さん (谷中蛭沼・11区)
Sosa Ky Mizumuma

●水沼さんは、「11区芸術祭(毎年3月開催)」に竹細工を出展しています。水沼さんの作る菜ばしは、持ちやすいと地元でも人気を博しています。

竹とんぼをもらったときの子どもの笑顔を見たいですよ。



「喜ばれるうちは、続けていきたいです。廃材となった竹をもらい受け、趣味で竹とんぼや日用品を作っている水沼宗作さん。竹とんぼは近くの保育園に寄附。日用品の菜ばしは、必要としている人がいればあげてしまします。鉄工所を営んでいましたが、高齢になり工場をたたんだのをきっかけに、竹細工をするようになったそうです。今も暇をみつければこつこつと作り続けています。「竹とんぼをあげると子どもたちは、喜んでくれます。何よりその笑顔を見るのがうれしい」と水沼さん。菜ばしは、使い勝手がよく手に何となく馴染んで温かみがあります。地元の主婦からも喜ばれています。「自分が動けるうちは、作り続けたいです。要是喜ばれれば、それでいいんです」と笑顔で話してくれました。



↑竹を削って、菜ばしや竹とんぼを地道に作っています。何より皆さんの喜ぶ顔が見たいからです



佐藤博子さん (錦上・12区)
Hiroko Sato

●パンと花、そして日常にあるものを使って創作する一風変わった「パンアレンジ」。佐藤さんは、毎月楽しみながら作品作りに打ち込みます。

一風変わった「パンアレンジ」やってみると案外楽しいですよ。



「自分の作品をプレゼントして、喜ばれたときが一番うれしいです。佐藤博子さんは、フラワーアレンジ歴10年。公民館の講座に足を運んだのがきっかけで始めました。「フラワーアレンジは、長く続いている趣味です。お花の彩りが、生活の中にあつたほうがいいですね」と語ります。佐藤さんは、私の主催するパンアレンジ教室の生徒さんでもあります。「パンアレンジは楽しいです。パンを使い、そこにお花を添える。毎回違う素材を使うので、同じものではできません。自分の感性のおもむくままです」と佐藤さん。できあがった作品は、家に飾ったり親しい友人にあげたりするそうです。「わざわざケーキを購入して、私の作品を飾ってくれる人もいます」と、うれしそうに話してくれました。



↑パンアレンジに使う素材のパンは、本物を使ったり、本物そっくりのパンを使ったりします



風船飛ばし
平和を願って来場者と風船飛ばしを行いました。願いの込められた風船は、大空へと舞い上がりました。親子と一緒に風船を飛ばす姿も見ることができました



ペーパースーツ(紙人形劇) 現在と戦時中との衣食住の違いを分かりやすく上演しました
※ペーパースーツは、表裏で違う絵を描いた紙人形をくるくる回して上演する人形劇です。



「地域から平和の輪を広げていきたいです」



邑楽町平和展実行委員会
委員長 森本 賢太郎さん

あたりまえにある「平和」の中で暮らしている私たちは、戦争を知りません。今ある平和は、過去に多くの人の犠牲のもとに築き上げられたものだと考えます。平和と展示委員では、過去の悲惨なできごとを、若い世代へ語り継いでいくための企画を毎年行っています。今回、戦争体験をされた皆さんによる貴重な講演会も開催で

きました。平和展に訪れた人たちが見聞きしたことを家に持ち帰り、家族と話をすることで、平和についてもっと考え直すきっかけを広げてほしいと思います。
今年で29回目を迎える平和展。今後は、もっと地域の人たちにも参加してもらい、地域の人の心と一丸となって、「平和への思い」を発信していきたいですね。



「ちいちゃんのかげおくり(大きな絵本)」の展示
展示部門のスタッフが、手作りで作製した大きな絵本「ちいちゃんのかげおくり」。戦争の悲劇を絵本から知ってもらい取り組みとして企画。体をいっぱい使ってページをめくり、読んでもらいました



戦時食の無料配付 戦時中に食べられていた食事や、おやつを無料配付しました。調理法や調味料も当時のものを再現。配付されたのは「すいとん」と「里芋おはぎ」、そして「かりんとう」でした



風化させてはならない事実がある。知っておかなければならない悲劇がある。邑楽町平和展では、毎年平和とは何かを問いかけるイベントを開催しています。今年のテーマは、「戦争の中の子どもたち」。太平洋戦争の渦中にいた子どもたちにスポットをあて、平和へのメッセージを織り交ぜた手作りのイベントを開催しました。



戦時中の遊び体験 戦時中の子どもの遊びを再現。時代とともに遊びは変わっても、笑顔は変わりません

邑楽町平和展 「戦争の中の子どもたち」

特集 若者たちから発信するメッセージ



黙とうをささげる邑楽町平和展実行委員会の若者たち 「あたりまえのようにある平和も、願ひ続けなければ意味がない」とスタッフの一人は言います



「戦争の中の子どもたち」パネル展 太平洋戦争時の子どもたちにスポットをあて、写真パネルや当時の日用品などを展示。戦時中の子どもたちはどのような生活を送り、何を思っていたのかを伝えました。「何より親子連れで見てほしい」。そんな願いも込められていました

反戦や平和への思いを発信していく邑楽町平和展(以下、平和展)が9月8日に開催されました。町職員労働組合の青年たちでつくる邑楽町平和展実行委員会が毎年企画。今年で29回目を数えます。今回のテーマは「戦争の中の子どもたち」。太平洋戦争の中で、子どもたちがどのような生活を送り、そして何を思っていたのか、貴重な資料をもとに平和へのメッセージを伝えました。
大多数の人たちは、日本がアメリカをはじめとした連合国と戦争をしていたことを、歴史の教科書で知るだけの「戦争を知らない世代」です。そんな世代に戦争の悲劇を知ってもらい、平和の尊さを再認識してもらいたいという願いが、この平和展には込められています。
平和展実行委員会委員長の森本賢太郎さんは、「町民の皆さん、そして未来を担う子どもたちに少しでも戦争の悲劇を知ってもらい、地域から平和への思いを発信していきたい」と話します。
その一環として、戦争の中で少年時代を過ごした3人の皆さん、森戸真さん(坪谷22区)、清水良嗣さん(光善寺15区)、中谷修さん(前原・4区)の講演会が開催されました。地域の人から戦争の話を聴くことが、戦争の悲劇を風化させない取り組みのひとつになりました。
平和展に会場した皆さんの目には、何が映ったのか、心には何が響いたのか。終戦の日から67年。若者たちの発信する平和へのメッセージは、これからも続いていきます。



森戸 貢さん(群谷・22区)

亡き叔父さんのあの笑顔を
忘れることができません。

昭和15年、私が小学校3年生の時、叔父さん(森戸茂さん)は飛行機の整備兵として召集され、千葉県東の飛行連隊に所属することになりました。日中戦争が長期化、戦線が拡大するにつれ、叔父さんの部隊も中国方面へ派遣されることになったのです。

昭和16年12月8日未明、ラジオから「帝国陸海軍部隊は本八日未明、西太平洋においてアメリカ、イギリス軍と戦闘状態に入れり」という太平洋戦争勃発の臨時ニュースが流れました。中国と戦争をしているのにもっと大きな戦争になってしまったなど、当時の私の心には大きな不安ばかりが宿りました。

叔父さんの部隊も赤道直下のスマトラ島に派遣され、その後ジャワ島に進軍。叔父さんは同島にて兵役満了になり、日本に帰還できるはずでした。兵役満了の連絡を受け、祖父をはじめ家族一同喜んでいました。

と、託されたのです。
手紙には、「茂が戦場の土となるようなことがあれば、冥土よりご両親様の長寿と、ご建福をお祈りします。(中略)私事に争いぬ時局故、勝つまでは滅私奉公です」とあり、「君の為、何故か惜しまん。若敵散りて甲斐ある命なりせば――九軍神の詞を忍びつ―父上母上様 茂」と最後に締めくくられておりました。

昭和19年9月16日、叔父さんは東部ニューギニアのセビック州ママイで戦死。24歳の若さでこの世を去りました。出征後一度も会えないまま戦死の知らせを聞いて、家族一同悲しみに暮れました。

たとえ叔父さんの身は、遠く南方の地ニューギニアに眠っているとしても魂はわが家、そして両親のもとへしっかりと戻ってきています。戦地からの手紙は、叔父さんの魂そのものなのです。仏壇にお供えして毎日ご冥福をお祈りしております。

たご揚げや魚取りなど私と一緒に遊んでくれたときの、あのやさしい叔父さんの笑顔を今でも忘れることができません。

もし、この戦争がなかったならば、やさしく責任感のある叔父さんは、素晴らしい家庭を築き、お子さんやお孫さんたちに囲まれて平和な家庭の主として、長寿を全うしたのに、幸せな人生を送ることができたのに……と思えてなりません。

ところが、昭和18年中ごろから戦況が激化し、帰還は突如延期となってしまいました。家族へのみやげ物などをトランクに詰め込み、帰還の日を一日千秋の思いで待つていた叔父さん。その故郷への望郷の念、家族との再会の喜びを断絶されてしまった断腸の思い、その絶望を思うと今でも涙が止まりません。



「戦地からの手紙」

その後、部隊はジャワ島から激戦が続くニューギニア島へと派遣されました。手紙は、「ウエワク飛行場に来襲せる敵機の大編隊、爆弾の音、高射砲の発煙に明け暮れ疾に壮烈なる戦闘が繰り返されております。飛行場には物資などは、ほとんどなくなり食べ物には木の葉、草の根のありさまでして」と戦場のすさまじさを伝える文面でした。

戦地からの手紙は、叔父さんと同じ部隊の太田市出身の金田兵長さんより持たられました。少尉候補生として合格し、内地(日本)に一時帰還するというので、その際叔父さんから故郷の両親へ渡してほしい

語り尽くせない過去がある。
語り継がなくてはならない真実がある。

●東部ニューギニア戦線
日本軍は、昭和17年3月より東部ニューギニアの要地攻略と占領を目指して上陸を開始。連合国軍との間に激しい戦闘が繰り返されました。しかし、制海権と制空権を失った日本軍は、補給を断たれ孤立し、飢えとマラリアなどに苦しめられたといえます。戦闘は、昭和20年8月15日の終戦まで続けました



語り継ぐ【歴史の証言】

若い世代に、未来を担う子どもたちに

語りべ 森戸 貢さん「戦地からの手紙」 清水 良訓さん「学徒動員」 中谷 修さん「戦後の食糧難」



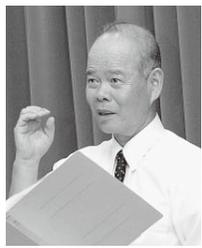
清水 良訓さん(光語寺・15区)

学生が戦争の道具にされる
こんな悲しいことはない。

私は、昭和5年に生まれました。その翌年には満州事変、昭和12年には日中戦争が始まりました。昭和16年には太平洋戦争が始まりました。私は戦争の中で育ってきたといっても過言ではありません。必死に生きて、気がついたときには、終戦を迎えていました。

当時は、庶民の間でも戦時色が色濃く、皆さんと一緒のことができないと「非国民」と言われた時代。民間の工場は、軍部の統制のもと軍需工場として徴用され、米も穀類を残したほか、すべて供出させられました。戦争が激化するにつれ兵器に使う鉄も不足。なべや、やかんまで供出させられました。そして、ほとんどの物が配給制となり、切符と交換して手に入れていました。砂糖やみそ、しょうゆにマッチまで切符と交換。終戦近くなると、交換する物すらなくなっていました。

昭和19年11月、国民学校高等科現



中谷 修さん(前原・4区)

あの食糧難を乗り越えて
今の日本があると思います。

終戦を迎えた日、私はわずか5歳でした。実家は、和歌山県の高野山と海南市のちょうど中間に当たる山間地にあり、材木を扱う商売を営んでおりました。終戦まで海南市から3〜5歳の親戚の子どもたちも、わが家へ疎開をしていました。

食べるものが本当になくて、子どもたちのケンカの原因のほとんどは食べ物でした。兄弟同士でとつくみあいのケンカになることもありましたが、「食べ物がない、小さい子どもが大きなケガをする」と母が心配して、母に大きくなって辛いことはない、と後年母は言っていました。

私の母は、父の仕事を手伝ってくれる隣近所の人の子もたちの面倒も見ていました。当時、朝食・夕食は「おかゆさん」といってご飯にお茶を入れて塩をまぶしたり、あるいはさつま芋を入れたりした食事が食卓に出されていました。昼は麦ご飯で、この時は大変なごちそうでした。

在の中学校に相当)の15歳のとき、私は大泉の工場へと学徒動員されました。学徒動員は、工場などの労働力不足を補うために昭和19年中ごろから始まりました。

工場には定期的にアメリカのB29爆撃機が来襲してきて、激しい爆撃をしていきました。逃げるのが精一杯。警戒警報が鳴ると、学徒が一番先に逃がされました。太田工場が爆撃され、大泉工場は機銃掃射されました。戦闘機は一列になつて突っ込んでくるので、本当に恐ろしかったです。急降下してくる戦闘機のパイロットが見えたと言う人もいます。昭和20年8月15日のお昼ごろ、終戦を伝える天皇陛下の玉音放送をラジオのある家庭に集まって、みんなで聞きました。その時、初めて天皇陛下の声を聞きました。「堪えがたきを堪え、忍びがたきを忍び……」。この二つのフレーズだけは、今でも忘れることができません。

勉強がしたかった。でもできなかった。戦争で、ノートもない。習字をする半紙もない。ただ新聞紙に真っ黒になるまで書いていた……。今考えたら、戦時であんな苦しい学生時代が、いったい何のためだったのか、分からなくなりました。戦争はしないほうがいい。絶対にしてはいけない。知恵を使って避けたほうがいい。私はあの戦争を経験したから思えるのです。

疎開している子どもたちがケンカしていても妻ご飯をあげると、うそのように泣き止み仲直りしたと当時を振り返り、母は話していたのを記憶しています。

食事の時、母は麦ご飯を決まってお茶碗に一膳とおきました。戦後間もないころでしたが、わが家の前を高野山参りの人が通つていきました。その人たちの中には、「奥さんお茶を一杯もらえるかね」と言つて尋ねて来る人もいれば、まだご飯を食べていないという人もいました。そんな時母は、とっておいた麦ご飯を差し上げていたのです。子どもながらに見ていたその光景を、今でも忘れることができません。

こうした食糧難の時代も昭和24年ごろには一応の解決をみたようですが、なぜ、食糧難となった期間があったのか、大きな要因が3つあると私は思います。

①GHQが食料支援をしなかった▽日本が食料を隠し持っていて地上戦を行うのではないかと警戒があった②人口増加▽昭和20・25年に約1,200万人増加(外地から日本に戻ってきた人の割合が半分)に伴う食料不足③自然災害が多発▽福井地震や枕崎に上陸した台風など終戦間もない何も無い時代から驚異的な発展を遂げた日本。昭和20年代は、今の日本の原点だと私は思います。

決算報告

Close up クローズアップ

平成 23 年度の一般会計と特別会計の決算が 9 月定例議会で認定されました。一般会計の決算は、歳入総額 89 億 6,790 万円（前年度比 8.1% 増）、歳出総額 84 億 6,202 万円（前年度比 12.2% 増）でした。

Close up クローズアップ

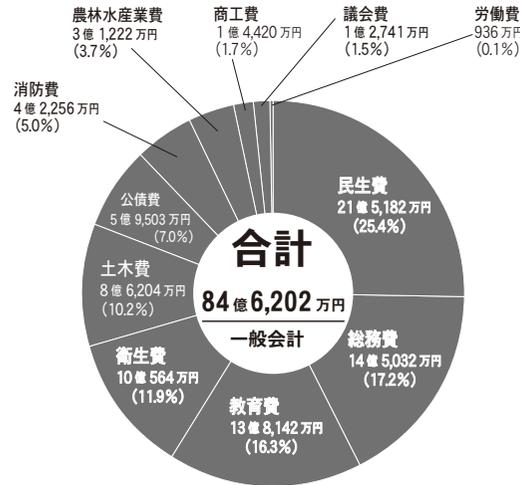
町の財政に関するお問い合わせは、役場総務課 ☎ 47-5004 まで

歳出の合計額は、前年度と比べ 12.2% 増加した。幼児園や小・中学校のエアコン設置事業や子ども手当の支給事業、石打の町営住宅建設事業や遊水池施設管理事業など、広範囲にわたる事業を推進した。東日本大震災を受けて、その対策事業も実施した。

限りある予算の中で時代の変化に対応し、多様化する町民のニーズに応える行政事業の執行に努めました。

84 億 6,202 万円 歳出

どんな事業が行われたの？
一般会計歳出から見る現状



◆ 一般会計歳出 対前年度比較 (単位: 万円)

内訳	23年度	22年度	対前年比
民生費	215,182	200,433	+ 7.4
総務費	145,032	136,694	+ 6.1
教育費	138,142	80,426	+ 71.8
衛生費	100,564	102,445	- 1.8
土木費	86,204	70,508	+ 22.3
公債費	59,503	62,925	- 5.4
消防費	42,256	38,545	+ 9.6
農林水産業費	31,222	19,813	+ 57.6
商工費	14,420	16,264	- 11.3
議会費	12,741	10,267	+ 24.1
労働費	936	996	- 6.0
諸支出金	0	14,673	- 100.0
計	846,202	753,989	+ 12.2

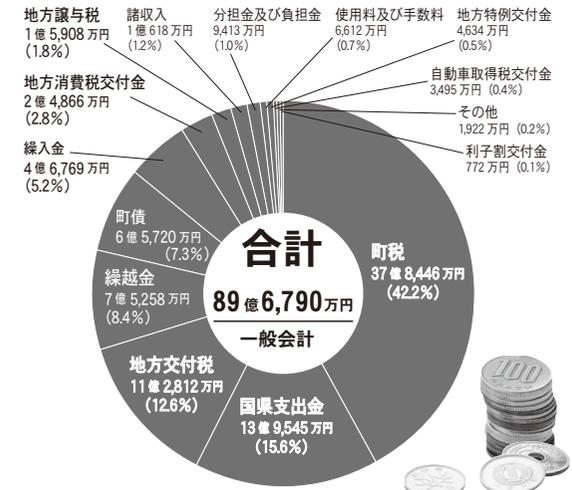
歳入の合計額は、前年度と比べ 8.1% 増加した。地方交付税などが減少した。歳入は「自主財源」と「依存財源」の 2 つに分類されます。自主財源は町税、使用料や手数料など町が独自に得ることのできるお金、依存財源は国や県から町がもらうお金です。自主財源の割合が高いほど、行政活動の自主性と安定性を確保できるとされています。今回の決算では、歳入全体の 58.9% が自主財源でした。今後も財政の自立性確保のため、歳入の拡充を図っていきます。

89 億 6,790 万円 歳入

自主財源・依存財源って？
一般会計歳入から見る現状

◆ 一般会計歳入 対前年度比較 (単位: 万円)

内訳	23年度	22年度	対前年比
町税	378,446	378,274	+ 0.0
国県支出金	139,545	119,367	+ 16.9
地方交付税	112,812	115,387	- 2.2
繰越金	75,258	43,647	+ 72.4
町債	65,720	66,980	- 1.9
繰入金	46,769	26,138	+ 78.9
地方消費税交付金	24,866	25,831	- 3.7
地方譲与税	15,908	16,324	- 2.6
諸収入	10,618	8,952	+ 18.6
分担金及び負担金	9,413	9,287	+ 1.4
使用料及び手数料	6,612	6,727	- 1.7
地方特例交付金	4,634	5,111	- 9.3
自動車取得税交付金	3,495	4,482	- 22.0
その他	1,922	1,983	- 3.1
利子割交付金	772	1,256	- 38.6
計	896,790	829,746	+ 8.1



健全化判断比率

邑楽町の財政って健全？

健全化判断比率と資金不足比率から見る現状

邑楽町が健全な財政運営かどうか、実質赤字比率や資金不足比率など国が定めた 5 つの指標を確認できます（左表参照）。この 5 つの指標は、地方公共団体の「財政健全化に関する法律」の施行によって平成 20 年度から公表が義務づけられました。また、邑楽町ではそれぞれの数値は算定されず、非常に低い数値で、財政は健全に運営されていることが数字で確認できます。

健全化判断比率	邑楽町	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 財政規模に対して、一般会計などが出した赤字額の割合	算定されず	14.67%	20.00%
連結実質赤字比率 財政規模に対して、町の持っている一般会計が出した赤字額の割合	算定されず	19.67%	30.00%
実質公債費比率 財政規模に対しての借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合	5.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率 一般会計などが将来負担しなくてはならない負債額の割合	算定されず	350.0%	—
資金不足比率	邑楽町	経営健全化基準	備考
資金不足比率 公営企業会計（水道事業など）の営業収益における資金の不足額の割合	算定されず	20.0%	水道事業会計と下水道事業特別会計での算定

※赤字が算定されない場合は「算定されず」で表示。

特別会計

特別会計って赤字？黒字？

各特別会計決算の現状

	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	31 億 6,002 万円	29 億 8,067 万円	1 億 7,935 万円
後期高齢者医療	1 億 8,344 万円	1 億 7,990 万円	354 万円
介護保険	15 億 5,980 万円	15 億 5,868 万円	112 万円
下水道事業	3 億 6,656 万円	3 億 3,663 万円	2,993 万円
学校給食事業	6 億 7,654 万円	6 億 7,641 万円	13 万円
水道事業	5 億 2,393 万円	5 億 598 万円	1,795 万円

特別会計とは、一般会計が基本的・全体的な経費を管理する会計であるのに対し、特定の事業を行うために歳入・歳出を一般会計と別で管理する会計です。邑楽町では、6 つの事業が特別会計になっています。平成 23 年度の各特別会計の決算は、前年に引き続きすべて黒字（左表参照）。邑楽町の特別会計は、健全な財政運営がされていることが確認されました。

11月4日(日)に同時開催します
邑梁町産業祭・邑多福まつり



お米のつかみ取り

第19回邑梁町産業祭

▼期日 11月4日(日)
▼時間 午前9時〜午後3時
▼会場 役場周辺
▼内容(予定)
即売▽果物、お米、野菜、肉類、衣料品
そば、うどんなど
模擬店▽焼きそば、フランクフルト、
唐揚げ、みそおでんなど
展示▽農機具、自動車
無料サービス▽包丁研ぎ、豚汁、おに
ぎり、いも煮、きなこ餅など
※数に限りがあります。また、
内容が一部変更になる
場合があります。



その他▽邑梁町スター
ンプ会抽選会(抽選
券が必要、お米のつ
かみ取りなど)
※2012おうち祭り絵
画作品展も同時開催します。
▼問合せ 町商工会 88-10082
役場産業振興課 47-5026

邑多福まつり2012

▼期日 11月4日(日)
▼時間 午前9時〜午後3時
▼会場 保健センター
▼内容(予定)
相談▽高齢者総合相談、健康相談
体験▽骨密度レベルチェック、歯磨き
指導、体脂肪測定、血管年齢測定、高
齢者筋力トレーニング教室、転倒予防
教室
展示▽介護機器・介護用品展示、デイ
サービスの利用者作品展
販売▽3,000冊古本市、各種福祉
団体の模擬店
その他▽屋外ステージ、聴導犬の模範
訓練、こども遊び広場(着ぐるみ、ス
ライム作りなど)、献血(午前9時30
分〜正午、午後1時〜2時30分)、災
害時緊急炊き出し訓練
▼問合せ 役場保険年金課
47-5020



聴導犬(ちょうどうけん)の模範訓練
▶聴導犬 音が聞こえない、聞こえに
くい人に生活の中の必要な音を知らせ
る「ほじよ犬」。玄關のチャイム音や、
FAX着信音などを聞き分け教えます。

講演 堀田力講演会(人権啓発活動講演会)



講師 堀田力さん
▶弁護士・公益財団法人
さわやか福祉財団理事長

▼期日 11月11日(日)
▼時間 午後2時〜3時30分
(午後1時30分開場)
▼会場 役場3階大会議室
▼テーマ
支えあう豊かな地域をめざして
▼入場料 無料
▼定員 230人(先着順)

講座 聞けば納得、被害にあうのは理由がある
消費生活講座を開催します



講師 村千鶴子さん
▶弁護士・東京経済大学
現代法学部教授

町では、「消費者トラブル」と対
応策」の著者、村千鶴子弁護士を招
いて、消費生活講座を開催します。
▼期日 11月24日(日)

▼時間 午後1時30分〜3時
▼会場 役場2階201会議室
▼テーマ
消費者はなぜだまされるのか
(最近の手口と防止法)
▼定員 40人(先着順)
▼入場料 無料
▼申込方法 電話で申し込む
▼申込・問合せ 町消費生活センター
47-5047

住民 外国人住民の皆さんへ
引越する時は、転出の届け出を!



外国人住民の人も、住民基本台帳法の適用
対象です。これにより日本人と同じ手続きが、
役場住民課で必要になります

転出と転居出国する場合の手続き
転出 ①住民課で「転出証明書」の交
付を受ける②14日以内に転出先の役
所に届け出をする
町内転居 住民課で転居の届出を行う

福祉 障害者の虐待の防止・早期発見に向けて
虐待の通報と相談を受け付けます

障害者虐待防止法の施行に
伴い、役場福祉課では、虐待
の未然防止、早期発見とその
後の適切な支援を行うため、虐待発見
などの通報や相談を受け付けます。
相談時間と通報先
▼平日 午前8時30分〜午後5時15分



役場福祉課 47-5024
▼夜間と土・日曜日、祝日 24時間
障害者相談支援センター(ほっと)
090-4546-4040
※生命の危険など緊急性が高い場合
は、警察または救急へご連絡ください。
▼問合せ 役場福祉課 47-5024

開放 「県民の日」の協賛事業として
町内の施設を無料開放します

県民の日協賛事業として町の施設、
福祉センター寿荘を無料開放します。
▼開放日・対象施設・時間 下表参照
▼問合せ
シンボルタワー 88-8686
福祉センター 88-6588
町民体育館 88-5355
ヤングプラザ 89-1501

Table with 3 columns: 開放日, 施設名, 時間. Lists facilities like 福祉センター寿荘 and 町民体育館.

販売 広報おうらら掲載250回の軌跡
「続・あしもとに故郷」販売

広報おうららに連載していた故・厚川
小一さん(寺中・26区)の「あしもと
に故郷」が、増補版「続・あしもとに
故郷」として、今回発行となりました。

「続・あしもとに故郷」販売
▶平成19年2月号〜
平成23年3月号ま
での号を追加収録

NHKからお知らせ
10月27日(日)朝の放送開始から、一部のテレビ・録画機などで「NHK総合」だけが映らなくなる可能性があります。
「NHK総合」が映らなくなった場合は、「チャンネル設定(初期スキャン)」を行うことで、ご覧いただけるようになります。
※録画機は、改めて再録画予約が必要です。
▶問合せ NHK北関東受信相談センター 0570-071-071

健康・福祉

インフルエンザ予防接種助成

町では、高齢者がインフルエンザ予防接種を受ける際、費用の一部を負担します。1人1回限りです。

▼対象 次のいずれかの人

①接種日に満65歳(昭和22年12月31日以前生まれ)以上で、接種を希望する人

②60歳以上65歳未満で、厚生労働省令に定められた人

▼料金 1,000円(自己負担額)

※館林市邑楽郡・足利市医師会管轄以外では1,000円を超える場合もあります。

▼持参するもの 通知書(事前に対象者に郵送)、健康保険証

▼実施期間(期間以外は全額自己負担) 10月1日(日)～平成25年1月12日(土)

▼問合先 保健センター
☎88-5533

健康ウォーキング教室

▼期日 10月18日(日)・11月1日(日)

※2日間とも同じ内容です。

▼時間 午前9時30分～11時30分

▼会場 保健センター

▼定員 各回40人(先着順)

▼参加費 無料

▼申込方法 電話で申し込む

▼申込・問合先 保健センター
☎88-5533

ますます元氣教室(後編)

▼期日 11月8日(日)～平成25年3月21日(日)(月2回・全10回コース)

▼時間 午前10時～11時30分

▼会場 保健センター

▼対象 運動に支障のない65歳以上の介護認定を受けていない人

▼定員 30人(先着順)

▼参加費 無料

▼申込方法 電話で申し込む

▼問合先 保健センター
☎88-5533

年金・税金

国民年金の任意加入

老齢基礎年金は、20～60歳になるまでの40年間に保険料を納めなければ、満額の年金を受け取れません。

保険料の納付済期間が40年間に満たない場合は、60～65歳になるまでの間に任意加入して、満額の年金に近づけることができます。

▼問合先 太田年金事務所
☎49-3712

年末調整・確定申告が必要ですが

国民年金保険料の納付額を証明する「社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書(はがき)」が日本年金機構から11月上旬に郵送されます。

※年末調整や確定申告の手続きには、

定例相談

- | | |
|--|---|
| <p>法律相談(要予約・定員10人)</p> <p>10月27日(出)・相澤弁護士
11月17日(出)・中村弁護士
午後1時30分～4時
邑楽町役場・住民課☎47-5017</p> <p>人権・行政相談</p> <p>10月11日(休)・11月8日(休)
午後1時30分～4時
邑楽町役場・住民課☎47-5017</p> <p>特設行政相談所</p> <p>10月11日(休)・午後1時30分～4時
邑楽町役場・住民課☎47-5017</p> <p>心配ごと相談</p> <p>10月20日(出)・11月20日(休)
午後1時～3時30分
社会福祉協議会相談室
社会福祉協議会☎88-2408</p> <p>心配ごと電話相談</p> <p>月～金曜日(祝日を除く)
午前9時～午後4時
社会福祉協議会
☎88-7620(専用電話)</p> | <p>青年相談</p> <p>10月20日(出)・11月3日(出)
午後6時～8時
ヤングプラザ☎89-1501</p> <p>交通事故電話相談</p> <p>月～金曜日(祝日を除く)
午前9時～午後4時
県交通事故相談所☎027-243-2511</p> <p>年金相談</p> <p>10月18日(休)・午前9時30分～午後3時
館林市役所☎72-4111</p> <p>子育てこころの相談(要予約)</p> <p>10月17日(休)・午前9時～正午
館林保健福祉事務所☎72-3230</p> <p>精神保健福祉相談(要予約)</p> <p>10月17日(休)・11月7日(休)
午後3時～5時
館林保健福祉事務所☎72-3230</p> <p>ふれあい相談会(神経難病生活支援相談会)</p> <p>11月14日(休)・午後1時15分～3時30分
※初めての参加者は電話予約が必要。
館林保健福祉事務所☎72-3230</p> |
|--|---|

期限内に必ず提出しましょう

毎年10月下旬～11月上旬に日本年金機構から「扶養親族等申告書」が送られます。必ず提出してください。

▼申告書が郵送される人

①65歳以上で15.8万円以上の年金を受けている人

②65歳未満で10.8万円以上の年金を受けている人

控除証明書が必要になります。

▼社会保険料控除の対象

平成24年1月～12月までに納めた国民年金保険料

▼問合先 太田年金事務所
☎49-3712

年末調整の説明会

▼期日・時間・会場

11月13日(日)・午後2時～4時・館林市三の丸芸術ホール(館林市城町)

11月14日(日)・午前10時～正午、午後2時～4時・太田市社会教育総合センター(太田市野野町)

▼問合先 館林税務署
☎72-4373

募集

東京デイズニースーツァー

町労使教育委員会では、東京デイズニースーツァーの参加者を募集します。

▼期日 12月8日(土)

▼集合出発時間 午前6時30分

▼集合場所 役場南側駐車場

▼対象 町内在住または在勤の勤労者とその家族でツアーに協力できる人

※未成年者は保護者の同伴が必要

▼定員 80人(応募者多数の場合抽選)

▼参加費(バス・バスポート・保険代) 大人(18歳以上) 8,000円
中人(12～17歳) 6,000円
小人(4～11歳) 5,000円
未就学児(3歳以下) 1,000円

▼申込方法 所定の申込用紙に参加者全員の名前、年齢、住所、電話番号と勤務先を記入し、直接申し込む

※申込は4人まで。参加費の支払い方法などは、参加者決定後に通知します。

▼申込締切 10月19日(日)

※受付は、役場開庁時間に限りです。

▼申込・問合先 役場産業振興課
☎47-5026

日曜緑化講座(第4回)

▼期日 11月11日(日)

▼時間 午前10時～正午

▼会場 県緑化センター

▼テーマ 落葉期にやっていきたい庭木の剪定とマツのみみ上げ

▼講師 茂木清美先生(樹木医)

▼定員 60人(先着順)

▼参加費 無料

▼申込方法 電話で申し込む

▼申込開始 10月29日(日)午前8時30分

▼申込・問合先 県緑化センター
☎88-17188

ふれあい保育

▼期日 11月1日(休)・6日(火)・7日(水)・8日(木)・13日(火)・14日(水)・15日(木)・20日(火)・21日(水)・22日(木)・27日(火)・28日(水)・29日(木)

▼時間 午前10時～正午

▼内容 七五三の袋作り、作って遊ぼう、リズム遊び、誕生会など

▼対象 0歳～就学前の子どもとその保護者

▼申込・問合先 子育て支援センター(中央保育園内)☎88-0230

※子育て支援センターでは、子育てに関する電話相談、来所相談も行っています。ぜひご利用ください。



子育て支援室

風の子保育園子育て支援室に遊びに来ませんか。楽しい遊びと仲間たちに出会えますよ。

▼活動日・対象

月曜日 自由開放日年齢問わず自由にご利用できます

火曜日 1歳児(平成22年4月2日～平成23年4月1日)

水曜日 0歳児(平成23年4月2日～後期)

木曜日 0歳児(生後3か月～前期)、妊婦さん(かわいい赤ちゃんに会いに来ませんか?)

金曜日 2歳児(平成21年4月2日～平成22年4月1日)

▼時間・内容

午前9時30分～11時30分・親子活動など

午前11時30分～午後0時30分・ランチ(自由参加)

午後0時30分～2時30分・子育て相談

▼申込・問合先 社会福祉法人こころみの会風の子保育園子育て支援室
☎88-7655(午前8時30分～午後2時まで)

相談

身体障害者巡回相談

▼期日 11月14日(日)

▼時間 午前10時～正午

今月の納税

▼納期限

町県民税(3期) 10月31日(日)

国民健康保険税(4期) 10月31日(日)

介護保険料(4期) 10月31日(日)

後期高齢者医療保険料(4期) 10月31日(日)

11月の電話相談

▼期日 11月18日(日)

▼時間 午前10時～午後3時

▼内容 精神科医師などの電話相談

▼費用 無料(電話代はかかりません)

▼相談専用電話 ☎027-290-2920

▼問合先 県こころの健康センター
☎027-263-1166

募集

▼対象 邑楽郡 館林市在住・在学の高校1、2年生

▼定員 40人(応募者多数の場合抽選)

▼参加費 無料(昼食は各自で用意)

▼見学先 イーランド(株)(大阪王将) 東洋大学板倉キャンパス(陸上競技部の見学もあります)、わたらせ自然館・渡良瀬遊水池など

▼申込方法 参加者全員の住所、名前(ふりがな)、年齢、学校名、電話番号を書いて、はがき・ファクス・メールで申し込む(1件につき4人まで)

Email: tatayou@pref.gunma.jp

※メールの場合は、件名に「みんなで走ろう」と入力してください。

▼申込締切 10月30日(必着)

▼申込・問合先 県東部県民局館林行政課事務所(〒374-10029 館林市仲町11-10) ☎72-4415、☎73-7858

元本保証だと思っていた投資信託

■事例 定期預金より利率が高く、しかも元本保証の金融商品がある。と投資信託を紹介され、安心だと思いきや、株価が下落した際に心配になり、担当者に連絡したところ、「株価が一定の金額以下になると元本保証はなくなる」と言われた。そのような説明は聞いていないし、元本割れの可能性があるなら契約しなかった。



■アドバイス 契約前に「元本割れするとは説明されなかった」など、十分な説明がなく、誤解からトラブルが起こるケースもあります。投資信託の中には、リスクや仕組みが複雑な商品があります。十分に理解できない場合は契約を控えましょう。

▶問合せ先 消費生活センター(役場産業振興課内) 47-5047

10月5日平成25年3月の「漏水等修繕当番表」にある中村水道工事が廃業となりました。もし、当番日に漏水などの発生したら、別の工事店が町指定の工事業者へご連絡ください。※町指定の工事業者一覧は、町ホームページでご覧いただけます。

水道課よりお知らせします

役場都市建設課 47-5031
 027-2226-12366
 027-2226-12366
 2,000㎡以上
 5,000㎡以上
 1万㎡以上

館林地地区消防組合の秋季点検

- ▼期日 11月4日
- ▼内容 多々良沼自然公園(館林市松沼町) 自然観察会を開催します。
- ▼期日 11月3日(小雨決行)
- ▼時間 午前9時～正午
- ▼会場 多々良沼公園(館林市松沼町)
- ▼内容 自然観察会、池の魚捕り体験、放流体験など
- ▼問合せ先 館林土木事務所 72-43555

多々良沼公園の自然観察会

多々良沼自然公園を愛する会では、自然観察会を開催します。

お知らせ

10月は土地利用月間です

- ▼時間 午前8時30分～11時30分
- ▼会場 千代田中学校(千代田町赤岩)
- ▼内容 組合消防団の消防車・資器材の点検、ポンプ操法、救急訓練など
- ▼問合せ先 館林地地区消防組合消防本部 72-3171

10月・11月の健康カレンダー

保健センター 88-5533

月日	種目	受付時間	場所	対象
10/16(火)	両親学級(1日目)	午前9:00～9:10	保健センター	妊婦または妊婦とその夫
18(木)	ことばの相談	予約制	保健センター	幼児(希望者)
22(月)	健康相談	午前10:00～11:30	保健センター	
26(金)	離乳食相談(後期)	午前9:30～10:00	保健センター	生後8か月～1歳までの乳幼児
26(金)	3歳児健診	午後1:00～1:15	保健センター	H21年9月生まれの幼児
11/1(木)	幼児相談	予約制	保健センター	幼児(希望者)
6(火)	両親学級(2日目)	午前9:00～9:10	保健センター	妊婦または妊婦とその夫
6(火)	4か月児健診	午後1:00～1:15	保健センター	H24年7月生まれの乳児
7(水)	2歳児歯科健診	午後1:00～1:15	保健センター	H22年10月生まれの幼児
8(木)	8か月児健診	午後1:00～1:15	保健センター	H24年2月生まれの乳児
9(金)	離乳食相談(前期)	午前9:30～10:00	保健センター	生後4か月～7か月までの乳児
9(金)	1歳6か月児健診	午後1:00～1:15	保健センター	H23年4月生まれの幼児



人口の動き
 世帯数 9,637世帯 (-2)
 男 13,955人 (-7)
 女 13,595人 (-14)
 計 27,550人 (-21)
 内外国人 403人 (-4)
 ※9月1日現在(前月比)

火災と救急

火災発生件数 1件(4)
 交通事故出動 6件(52)
 急病出動 52件(383)
 その他の出動 14件(128)
 救急出動合計 72件(563)
 ※8月分(1月からの累計)

緑化講座(第3回)

- ▼期日 11月22日
- ▼時間 午前10時～正午
- ▼会場 県緑化センター
- ▼テーマ そこが知りたい盆栽の育て方
- ▼講師 琴寄融先生(樹木医)
- ▼定員 20人(先着順)
- ▼参加費 無料
- ▼申込方法 電話で申し込む
- ▼申込開始日 11月5日(月)午前8時30分
- ▼申込・問合せ先 県緑化センター 88-7188

関東学園大学無料公開講座

- ▼期日 10月18日(土)～11月15日(土) (毎週木曜日・全5回)
- ▼時間 午後6時30分～8時15分
- ▼会場 関東学園大学(太田市藤阿久町)
- ▼内容 グローバル化と日本を考える
- ▼定員 100人(先着順)
- ▼申込方法 電話または、ファクスで申し込む
- ▼申込締切 10月17日
- ▼申込・問合せ先 関東学園大学 32-7906、31-2708
- ▼募集職種 薬剤師、臨床検査技師、作業療法士
- ▼募集人数 若干名
- ▼応募資格 日本国籍を持つ有資格者、または来春卒業予定者

催しもの

ダニエル・カール講演会

- ▼期日 11月17日
- ▼時間 午後1時～3時
- ▼会場 太田市学習文化センター(太田市飯塚町)
- ▼テーマ がんばって、オラの大好きな日本(未来へつなぐ夫婦・家族の絆)
- ▼入場料 無料
- ▼申込方法 整理券は、10月15日(日)から太田市役所市民活動支援課や、太田市内の各行政センター・サービスセンターなどで配布
- ▼問合せ先 太田市役所市民活動支援課 47-1897

11月の休日当番医

◇診療時間 内科・外科/午前9時～午後5時 耳鼻科/午前9時～午後1時 歯科/午前9時～正午、午後1時～3時
 ◇救急病院の問合せ先 救急センター 73-5699

	邑楽郡 (内科系)	館林市 (内科系)	外科系	耳鼻科
3日(土)	益田小児科(小児科のみ) 大泉町朝日 62-5535	黛泌尿器科 大泉町坂田 63-7800	落合医院 本町 72-3160	川島脳外科 館林市岡野町 75-5511
4日(日)	三浦医院 大泉町北小泉 62-2917	館林記念病院 台町 72-3155	うえの医院 赤生田町 72-3330	新橋病院 館林市下三林町 75-3011 川田耳鼻 館林市仲町 72-3314
11日(日)	みづほクリニック 大泉町西小泉 20-1122	横田胃腸科 細内町 72-4970	堀越医院 北成島町 73-4151	小曾根整形 館林市松沼町 72-7707
18日(日)	ミツフ診療所 明和町梅原 70-3030	湯沢医院 大泉町西小泉 62-2209	橋田内科 本町 72-0001	澤田皮膚外科 館林市新宿 70-7703 川村耳鼻 館林市新宿 72-1337
23日(金)	阿部医院 大泉町吉田 62-5428	いたくら内科 板倉町朝日野 70-4080	森下内科医院 花山町 73-7776	最上胃腸科 館林市朝日町 74-3763
25日(日)	かさはら内科医院 中野 55-2537	土井レディースクリニック(婦人科のみ) 苗木町 72-8841	横田医院 大手町 72-0255	慶友整形外科 館林市羽野町 72-6000

群馬県保険医協会 10月の健康テレホンサービス(027-234-4970)▷電話をすると3分間の健康講話が聞けます
 直接相談タイム(医師が相談や質問にお答えします)
 ▶期日 10月18日(土)(歯科)、11月8日(土)(皮膚科、外科)
 ▶時間 午後7時30分～9時

月曜 こぼれがえり
 火曜 鉄欠乏性貧血
 水曜 ガムは歯に悪いか

木曜 歯が痛いときの応急手当法
 金曜 高血圧症と歯科治療
 土・日曜 放射能で増えたがんは?



町立図書館 LIBRARY INFORMATION 情報板

11月 NOV

11月のはくちょう号

◆期日 11月8日(休)、22日(休)
◆時間・コース

到着時間	場所
10:30	特別養護老人ホーム やまつつじ
11:05	ラポール・レイソノ (寺内医院)
11:40	グループホーム ヴィラ
13:40	町福祉センター
14:20	グループホーム つむぎの里
15:00	長柄公民館

11月の休館日

4日(日)、5日(日)、12日(日)、19日(日)、
26日(日)、30日(日)
※4日(日)産業祭、30日(日)は月末整理
日のため

キッズクラブ「読み聞かせ」

▶期日 11月24日(日)
▶時間 午後2時～

オリーブ「読み聞かせ」

▶期日 11月1日(日)、8日(日)、15日(日)、
22日(日)、29日(日)
▶時間 午前11時～

11月の図書館映画会

●図書館名画座		
期日	開始時間	上映作品名
18日(日)	14:00	東京物語 (136分)
●金曜映画会		
期日	開始時間	上映作品名
2日(金)	14:00	フラガール (120分)
16日(金)	14:00	犬神家の一族 (134分)
●子ども映画会		
期日	開始時間	上映作品名
10日(日)	14:00	かいけつゾロリ2 (50分)

▶会場・問合先 町立図書館

Education Report

いじめ問題に思う

大津市の中学2年生の自殺は、いじめによるものではないかという記事を機に「いじめ」についての報道が相次ぎ、いじめと自殺の因果関係が取り沙汰され、学校や教育委員会の姿勢が問われました。

学校は、「どの学校にもいじめは起こりうる」という前提に立ち、日ごろから担任をはじめとする教職員がきめ細かに子どもたちの生活を観察し、いじめを見抜く目を持たなければなりません。また、子どもたちが、先生に何でも安心して言える信頼関係も必須です。そもそも、「いじめとは、受けた人が、つらい、悲しい、嫌だ、これはいじめだ」と思えばいじめなのであり、その子どもの心に寄り添って、早期の解決に努めなければなりません。そして、何よりも大切なのは、素直に自分を出せる温かな雰囲気と、よりよい人間関係づくりではないでしょうか。町内の幼稚園や小・中学校とともに手を携え、これから心の居場所のある楽しい園・学校づくりを心がけていきたいと考えています。(教育長 大竹喜代子)

SCHOOL Life

スローガン決め

児童会本部での仕事の中にスローガン決めがあります。これは、全児童に毎年運動会での目標などを、その目標に向かって頑張ろうという気持ちで考えてもらい、その中から投票で決めます。今年のスローガンは、「つかみとれ 汗と涙の優勝旗」に決まりました。

その後、児童会本部が体育館でスローガンを大きな紙に書きます。少しでもみんなの目標になってもらおうと、汗を流しながら頑張っています。だからこそ、運動会が大成功した時、児童みんなの絆が深まるというものでもあります。

運動会当日には、みんなが見られるように大きく校舎に張り出します。きれいに書けば書くほど、見た時に頑張った成果が見られるというのも楽しみの一つです。(児童会本部 小方玲奈)



みんなで話し合いながらスローガンを書きます



学校教育課 ☎47-5040(直通) school-ed@swan.town.orc.gunma.jp	邑楽町公民館 ☎88-1290	町立図書館 ☎88-5900
生涯学習課 ☎47-5043(直通) further-ed@swan.town.orc.gunma.jp	長柄公民館 ☎89-0123	ヤングプラザ ☎89-1501
	町民体育館 ☎88-5355	邑楽町教育委員会



手作り遊具やアスレチックで遊ぼう 一日だけの子ども王国「子どもまつり」

10月28日、多々良沼公園に1日だけの子どもの王国が開園します。邑楽町レクリエーション・リーダーズクラブ(ORLC)では、夏のリーダーキャンプに続き、「子どもまつり」を開催。ORLCのお兄さんやお姉さんが用意してくれた手作り遊具やアスレチックで思いっきり遊んで楽しむ。ほかにも、楽しいレクゲームがあります。さあ、みんなで子どもまつりに行ってみよう。



子どもまつりに参加して、一日思いっきり遊んで楽しもう

- ### 子どもまつり
- ▼期日 10月28日(日)
 - ▼雨天の場合は、11月3日(土)に順延。
 - ▼時間 午前9時～午後3時(午前8時30分受付開始)
 - ▼会場 多々良沼公園
 - ▼内容 手作りおもちゃによる遊びや樹木を使ったアスレチック、レクゲームなど
 - ▼対象 小学生
 - ▼持ち物 弁当、水筒、タオル
 - ※動きやすく、汚れてもよい服装でお越しください。
 - ▼参加費 100円(保険代)
 - ▼申込方法 直接会場でも申し込む
 - ▼問合先 邑楽町公民館

S SPORTS

スポーツ大会結果

第35回 壮年ソフトボール大会 優勝 田島ダイヤモンドスターズ 準優勝 三区ソフト
第35回 町長杯争奪軟式野球大会 優勝 邑楽キングス 準優勝 ジーニアス野球クラブ 第3位 邑楽町役場野球部 第3位 キンググローリアス
第41回 町民ソフトテニス大会 中学生男子① 広田翼・赤坂陸来② 石田翔斗・原孝次③ 保穂大暉・長谷川直生④ 宮田将貴・齊藤裕希 中学生女子① 比護千紗都・大川恵里奈② 木部真夕・諏訪愛 実莉③ 水野玲央奈・浦野朱梨④ 天谷美稀・小谷野愛望 一般男子① 坂本氷河・八 木橋和希② 小沢清・梶真也③ 相川利宗・大井良人④ 中島良大・山口京也 一般女 子① 吉岡芽実・坂本奈砂② 山本知美・山口彩③ 坂本恵・相川香里④ 高橋由樹・ 宇野貴美



人権について



中野小学校6年 橋本侑樹

僕は、人権という言葉の意味が、よく分かりませんでした。調べてみると「人が生来持っている、人間らしく生きるための全ての権利。安全に安心して暮らしていくために必要なものを得て、差別されることなく、学び生活できる権利」とありました。とっさに思い浮かんだのは、あの3月11日の出来事でした。

毎日、テレビや新聞で報道されていた放射能のこと、福島の人たちのことでした。報道の中で、「これは絶対に変だ」と思うことがありました。それは僕と同じ小学生が、転校先で放射能を想像させるようなあだ名を付けられ、被ばくが移ると言われた人がいたということです。つらい体験をしたうえに、こんなひどい言葉を受けた人たちは、どんなに辛いだろうと思えます。言葉や見た目、行動や考え方が違っていたり、理解出来なかつたりすると、自分では気が付かないうちに、心の壁を作ってしまったのかも知れません。

僕は気づいたらそのようなことを滅多に思わなくなりました。でも、本当に小さなことだけれど、僕にもできそうなことがあります。

たっさんの人と知り合っていて、たっさんの話をして、たっさんの考えを知ることがです。世界は広くて、自分が知っている世界は、米粒くらいだということを知らなければなりません。

そして、友達や知り合いにあってるとき「元気だった」と声をかけ、別れるときには「またな」と笑って手をふる大人になることです。

Information

インフォメーション

パソコン何でも相談会

- ▶ 期日 11月14日(木)、28日(木)
- ▶ 時間 午後1時30分～3時30分
- ▶ 会場 町共同福祉施設2階パソコンルーム
- ▶ 内容 パソコン操作の分からないことについての個人相談
- ▶ 対象 どなたでも
- ▶ 参加費 無料
- ▶ その他 ノートパソコンなど、持参できる人は持ってきてください。
- ▶ 問合せ 生涯学習課

IT講習会⑧(初心者パワーポイント)

- ▶ 期日 11月10日(土)、17日(土) (全2回)
- ▶ 時間 午前9時～正午
- ▶ 会場 町共同福祉施設2階パソコンルーム
- ▶ 内容 初心者向けのパワーポイントの基礎について学ぶ
- ▶ 対象 18歳以上の人(文字入力のできる人)
- ▶ 定員 20人(先着順)
- ▶ 参加費 1,260円(教材費)
- ▶ 申込開始 10月20日(土)午前9時
- ▶ 申込・問合せ 邑楽町公民館

IT講習会⑨(ワード・エクセル)

- ▶ 期日 11月13日(木)、14日(木)、15日(金)

- 日(木) (全3回)
- ▶ 時間 午前9時～正午
- ▶ 会場 町共同福祉施設2階パソコンルーム
- ▶ 内容 差込印刷、宛名印刷、長文編集、グラフ機能、ファイル管理などワード・エクセルの活用法について学ぶ
- ▶ 対象 18歳以上の人(パソコンの基本操作、文字入力のできる人)
- ▶ 定員 20人(先着順)
- ▶ 参加費 1,000円(教材費)
- ▶ 申込開始 10月23日(火)午前9時
- ▶ 申込・問合せ 邑楽町公民館

竹細工体験教室



竹を使ってかごを作りませんか

- ▶ 期日 11月7日(木)、21日(木) (全2回)
- ▶ 時間 午後1時30分～4時
- ▶ 会場 長柄公民館
- ▶ 内容 竹を使って六ツ目の手付きかごを作る
- ▶ 対象 18歳以上の人
- ▶ 定員 10人(先着順)
- ▶ 参加費 2,000円(教材費)

- ▶ 申込開始 10月17日(木)午前9時
- ▶ 申込・問合せ 長柄公民館

生き生き倶楽部

- ▶ 期日 ①11月8日(木)、②17日(土)、③22日(木)、④12月1日(土)、⑤15日(土)、⑥20日(木) (全6回)
- ▶ 時間 ①午前10時～11時30分、②④⑤午後1時30分～3時、③午前9時30分～午後3時、⑥午前10時～午後1時
- ▶ 会場 長柄公民館など
- ▶ 内容 ①リンパマッサージ、②④⑤長柄塾、③埼玉県熊谷市の歴史散策、⑥健康料理教室
- ▶ 対象 65歳以上の人
- ▶ 定員 25人(先着順)
- ▶ 参加費 1,000円(教材費など)
- ※③は妻沼聖天堂の拝観料が別途かかります。

- ▶ 申込開始 10月18日(木)午前9時
- ▶ 申込・問合せ 長柄公民館

青年はじめての料理講座

- ▶ 期日 11月14日(木)、21日(木)、28日(木)、12月5日(木) (全4回)
- ▶ 時間 午後7時～9時30分
- ▶ 会場 ヤングプラザ
- ▶ 内容 家庭でできる和食や洋食の基本を学ぶ
- ▶ 対象 16～35歳の人

- ▶ 定員 12人(先着順)
- ▶ 参加費 3,000円(材料代)
- ▶ 申込開始 10月17日(木)午後7時
- ▶ 申込・問合せ ヤングプラザ

オータムコンサート2012

- ▶ 期日 11月16日(金)
- ▶ 時間 午後7時～8時30分
- ▶ 会場 ヤングプラザ
- ▶ 内容 ギター演奏
- ▶ 出演 金子勝也さん
- ▶ 対象 小学生以上
- ▶ 定員 100人(先着順)
- ▶ 入場料 無料
- ▶ 申込開始 10月16日(木)午前10時から整理券を配布
- ▶ 申込・問合せ ヤングプラザ

邑水会 水彩画展

- ▶ 期日 11月23日(金)～12月6日(木)
- ▶ 会場・問合せ 町立図書館

お知らせ

町民体育館・武道館の休館について
町民体育館・武道館では、耐震補強等改修工事を11月20日～平成25年3月末日に行います。工事期間中は、休館となり利用はできません。事務所は町民体育館駐車場南側に設置し業務を行います。
▶ 問合せ 町民体育館

町民教養講座

知識のひろば「長柄塾」を開講します

長柄公民館では、町民教養講座・知識のひろば「長柄塾」を開講します。長柄塾は、今年で8回目の開催となり、各専門分野でご活躍されている町内出身・在住の先生を講師に招き、教養を深めるための話を伺う講演会です。

各回共通事項

- ▶ 時間 午後1時30分～3時(午後1時開場)
- ▶ 会場 長柄公民館
- ▶ 対象 どなたでも

- ▶ 定員 150人
- ▶ 参加費 無料
- ※10月18日(木)午前9時から整理券を配布します。
- ▶ 申込・問合せ 長柄公民館



高田智博先生

- ▶ 期日 11月17日(土)
- ▶ テーマ 登山の楽しさ、登山から学ぶこと
- ▶ プロフィール 17区在住。建設会社勤務。高校でワンダーフォーゲル部、大学で山岳部に入り年間約100日山に入る。現在も仕事の傍ら登山を楽しみ、ネパールヒマラヤのブモリ峰、中国四川省の英莫龍峰の海外遠征を経験



八柳介先生

- ▶ 期日 12月1日(土)
- ▶ テーマ 人生の楽園～竹細工の七つの魅力～
- ▶ プロフィール 16区在住。竹細工愛好会「楽竹会」代表。会社を退職後、竹細工を始める。ホームセンター内で竹細工教室「青竹細工道場」を開講。今年6月にはテレビ朝日の番組「人生の楽園」で竹細工活動が紹介される



北角友和先生

- ▶ 期日 12月15日(土)
- ▶ テーマ 天気予報のウラ側伝えます
- ▶ プロフィール 13区出身。群馬県庁職員。気象予報士の資格を持ち、入庁前は民間の気象会社に勤務。入庁後もその知識を生かし、天気に関する出前講座の講師やラジオの天気予報解説、テレビ局のアドバイザーなどを務める

No. 30 大塚 文化財

鏡の裏話①小野小町

邑楽町文化財保護調査委員
川島 正一



方形の懐中鏡(携帯用)

だれでも自分の顔は自分で見ることができません。皆さんは一日に何回くらい鏡を見るでしょうか。そしてどんな鏡を使っているでしょうか。水鏡といって、水面に浮かぶ顔を見ることが出来ます。今のよう、ガラスの鏡ができる前は、銅に錫の合金である「青銅の鏡」でした。鏡が一般の人にも広く普及したのは江戸時代からのようです。江戸時代にもガラス鏡はあり、浅間山の噴火で埋もれた嬬恋村鎌原の村でも発見されています。しかし、主流は青銅鏡です。その鏡の裏側には実にさまざまな図柄が表現されています。左の写真の鏡には世界三大美人、

日本代表の小野小町の和歌が表されています。「おもかげのかはらで年のつもれかしたひ命に限りありとも」で、「たとひ命に」の部分は抜けています。美人なるがゆえにその容姿の衰えへの心配は、なお一層深いものがあったのでしょうか。生きている限り美しいまま歳をとれたらいいなあ、と思うのは万人共通の願いでしょう。小野小町の生まれや死没については謎に包まれ、不明な点ばかりで各地に伝説が多く残されています。晩年は不遇であったとも言われています。この鏡は方形の懐中鏡(携帯用)です。どんなかたがどんな思いで使っていたのでしょうか。

TOPIC 邑楽中学校の生方敦也さんが全中陸上大会 800 mで第3位

8月22日、第39回全日本中学校陸上競技選手権大会が千葉県総合スポーツセンター陸上競技場で行われました。群馬県代表で男子800mに出場した邑楽中学校3年生の生方敦也さんが、自己新の1分57秒65をマークして第3位に入りました。大会では、最後の一周回で一時的にトップに立つなど積極的にレース運び、自己ベストを0秒95縮めてゴールしました。生方さんは、小学生時代は水泳とテニスに明け暮れましたが、テレビで見た箱根駅伝に魅了され、中学では陸上部に入部。陸上部と並行して、太田市

のおおたスポーツアカデミー陸上部にも所属し、専任コーチの下で週4回の練習をしています。生方さんは、「レース中はメダルをねらっていました。実現して信じられない気持ちです。タイムも自己ベストを更新できたのでうれしかったです。この結果を出せたのは、先生やコーチ、親、仲間のおかげで、感謝の気持ちいっぱいです。将来は、駅伝の強い高校に進学し、東洋大学の柏原竜二選手(現富士通)みたいなの選手になって、箱根駅伝で活躍するのが夢です」と話してくれました。



「箱根駅伝で活躍したいと話す」生方さん



3 第3回邑楽町ドッチビー大会 度目の挑戦でやっと優勝できました

9月16日、町民体育館で第3回邑楽町ドッチビー大会が行われ、35チーム、511人の子供たちが参加しました。優勝した秋妻チームのキャプテン諸田泰成さん(秋妻・17区)は、「去年、昨年は決勝トーナメントに出られず悔しい思いをしました。今年は6年生なので最後の大会。優勝できてうれしかったです」と話してくれました。

い 米寿・金婚記念式典 つまでも、元気に仲よく健康で

9月16日、福祉センターで米寿・金婚記念式典が行われ、米寿を迎えた99人の皆さんと金婚式を迎えた43組のご夫婦へ町から慶状などを贈呈。福嶋正太郎さん(前谷東原・2区)は、「互いに思いやるのが夫婦円満の秘けつです」と話していました。



あ 炭酸まんじゅう作り講座 あんこが飛び出ないように気をつけて

9月15日、ヤングプラザで炭酸まんじゅう作り講座が行われ、13人が参加しました。橋本てるみさん(上下西宿・7区)は、「娘が料理に興味を持ち始めたので、一緒に作れたらと思い参加しました。家でも挑戦してみようと思います」と話していました。



日 生け花教室 日常生活でも、生け花の技術が役立ちます

9月7日、第2区公民館で生け花教室が行われました。大川玉枝さん(前谷東原・2区)は、「長く公民館の生け花教室に通っていますが、先生に褒められるとうれしいです。仏壇にお供えるお花も上手に生けられるようになりました」と話してくれました。

煙 第11区防災訓練 体験を初めて実施。災害に備える準備よしっ!

9月9日、谷中蛭沼地区で自主防災訓練が開催され、避難訓練や消防署職員による講習、煙体験などが行われました。佐藤俊彦区長は、「地区の皆さんに助け合いの心を培ってもらうためにも、自主防災訓練は続けていきたいです」と話していました。



PHOTO PALETTE

皆さんの身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報を「広報おうら」編集部まで、お気軽にお寄せください。 ☎ 47-5007



↑「ヴィラ・デ・マリアージュ太田」では、富田美寿々さんがウェディングドレスの試着をお手伝いしていました。横田彩さんが新婦さんの役をしていました



↑このページは、私、小林実世も取材しました



↑創作イタリアン料理の「サジオ」で真剣な表情で食材を切る松島立弥さんと須永侑花さん



↑松島立弥さんにインタビューしました。「調理をするのが楽しかったです。将来は調理師になりたいです」と話していました

←須永侑花さんは、ウエートレスの仕事も体験していました

8月29、30日の2日間、邑楽南中学校2年生の職場体験学習が行われ、小林実世さん(西ノ根宮内中島・24区)が役場企画課を訪れ、広報おうらを作る仕事を体験しました。小林さんは、町内外で職場体験をしている同級生を突撃取材。写真撮影やインタビューなどを行いました。小林さんは「写真撮影は難しかったけれど、楽しかったです。周りの人に迷惑をかけないようにするのが大変でした。将来は、地域に貢献する仕事に就きたいです」と感想を書いています。



→パン屋さんの「こむぎ」では、村上祐太さんと細谷真奈さんがパン作りなどを体験しました

スマイルみ~つけた!



みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。
町民の皆さんが集い、
自由に意見を語り合う広場です。

ひとこと

〇(●)〇〇
一瞬で胸が熱くなった瞬間

大塚香さん(店高原)
先月号の特集「真夏の祭典おうち祭り」ページをめぐった瞬間一瞬胸が熱くなりました。写真を見ただけで迫力が伝わってきて心がわくわくしました。



島田菜々未さん(店高原)

読書の秋にはぜひ図書館へ

PN黒猫のクーちゃん
皆さんは、邑楽町の施設の中でどこが一番好きですか。私は、図書館です。

近隣の図書館にも足を運びましたが、邑楽町の図書館がきれいで過ごしやすいです。インターネットも見ることができると、とても便利です。これから迎える読書の秋に通ってみてはどうですか。

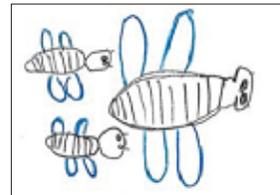


PNかぼちゃ

邑楽町平和展に行ってきた!

PN平和の使い

2階に展示してあったちいちゃんのかげおくりは、息子が小学生のとき国語の教科書にありました。20年以上たっても、内容は私の記憶に残っています。
亡き母は20歳のときに東京空襲を体験したと聞かされました。当時6歳だった叔父は、熱かったけれど一生懸命逃げたんだと話していました。戦争を知らない世代に、語り継いでいくため、こういう企画を続けてほしいと願います。



PNみどり



中村千恵実さん・幸椰くん
(住谷崎・21区)

幸椰は、いつも明るく元気な子。人見知りをせず、だれにでもここにこしながら近づいていきます。最近は、ダンスがマイブーム。お気に入りの番組が始まると、テレビの前で踊りだします。食べ物には、野菜が大好物。ピーマンでもにんじんでも、何でも食べられます。好きなものは食べるのも早いのですが、よくかまないから少し心配。丈夫で健康な子に育ててほしいと願います。

DREAM 夢



横山光さん 21歳
(十三軒・27区)

■現在何をしていますか？
現在、大学3年生です。専攻は子どもスポーツ教育学科。学校の先生を目指し勉強しています。ゼミでは、生涯スポーツを専攻。オリンピックなどの新聞記事を収集して読み解く研究をしています。なぜ、この種目はこの国が強いのかなど分かってくと面白いですね。
休日は、友達とバドミントンやボランティア活動をして、充実した毎日を過ごしています。

■将来の夢はなんですか？
将来は学校の先生になって、さまざまなスポーツを子どもたちに紹介したいです。野球やサッカー、バドミントンはもちろん、ローンボールズやポッチャーなど、自分自身大学に入ってから知ったスポーツもたくさんあります。数多くあるスポーツの中で、きっと自分が好きなスポーツはこれというものがあるはず。そんなスポーツとの出会いのきっかけを作ってあげたいですね。

●あて先 〒370-0692(住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係
☎47-5007 ㊟89-0136 E-mail koho@townora.guruma.jp
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

俳句

文芸

それぞれの居場所探して三尺裃
嫁ぎなを幾十年や盆麦度
ひらがなの文字とび跳る夏見舞
手花火や子等の幼き日々思う
炎暑日や雪と氷の画展みる
空坪をにぎり脱皮を語る孫
絵手紙や孫力作のかぶと虫
草引いて無心になれることが好き
ひたすらに祈ることの冷原爆忌
青紫蘇の香りのせたる冷やしそば
盆休み抱っこ抱っこともみじの掌
亡き母の思い出今も藍浴衣
マニキュアの指からませて藍浴衣

小林トヨ子
船生三江子
斉藤真紀子
金子 典子
大塚 初代
石橋弥代江
宮尾 静子
中警貴美子
今井 里智
小嶋フジ子
中谷 和子
村上 文子
大塚 久子

涙ふしし少女の頭や終戦日
運び着て似合し浴衣旅の宿
通けさや浴衣美人となりし日も
旅心くと引寄せ浴衣
晴れ舞台踊る友あり夏祭り
孫に看せ昭和を点す浴衣かな
宿浴衣短かめに着て炭釜節
宿浴衣膝まで捲くる足湯かな

松崎ナミ子
早川 亨
金子 睦子
安富 耕二
新井 政子
長谷川繁樹
青山 房江
岡田 尚美
築比地秀男

短歌

愛犬の駆ける様子かわいくなってまっすぐな目に我も応える
天高く早くも秋の気配する群れて空き地に飛び交う蜻蛉
早朝のシンガポールの気温観る孫は転動し三ヶ月たてり
消えてゆく聖火の中に世界中心一つになれた瞬間

曾我 公子
持田 静江
潮とみ
沼田とし子

KOHO 広報クイズ

問題の答えをはがきで送ってください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。
【今月の問題】

- 第1問 街角特派員の高橋さんが考案したアレンジは？
A.ヘアアレンジ B.パンアレンジ
C.電子レンジ (ヒント2~9ページ)
- 第2問 邑楽町平和展は今年で何回目？
A.29回 B.39回
C.何か用かい (ヒント10~13ページ)

応募方法 はがきに、答え(例：第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢を書いて送ってください。
あて先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係
締切 10月15日(日)(当日の消印有効)
※当選者は広報おうち11月号で発表します。
【9月号の当選者】(応募数47通、全問正解46通)
赤星輝子(4区) 小林陽子(7区)
境 美佐(7区) 栗原凌輔(7区)
中村みつ江(16区) 根岸孝志(28区)
山田和代(32区) 小林洋子(33区)
長 道代(34区) 鍋田歩美(34区)

まちかど 情報板

第16回雷祭
東洋大学板倉キャンパス
▼期日 11月3日(土)4日(日)
▼時間 午前10時~午後5時30分
※4日(日)は午後6時30分まで、フリーマーケットは午後3時までです。
▼会場 東洋大学板倉キャンパス
▼内容 芸能人ゲスト(テレビコミック、SUPER☆GiRLS、パンダ演奏、実験体験、模擬店、フリーマーケットなど)
※最終日は打上花火があります。
▼問合せ先 雷祭実行委員会
☎080-55046-1513
フリーマーケット参加者募集
▼参加方法 1,000円(1日1区画)
▼申込方法 メール、または往復はがきで申し込む
▼申込問合せ フリーマーケット担当 (kanharu、fee12@yahoo.co.jp) 〒374-0101 邑楽町板倉野 1-1-1 ☎080-06886-12755

イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ボエム ④短歌・俳句
⑤告知コーナー(イベント案内やメンバー募集など)
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

<p>広告面</p>	<p>広告面</p>

私が子育てネットワーカーを始めたのは10年前。ヤングブラザーで保育付講座のスタッフをしていたことがきっかけです。幼稚園で働いていたこともあり、その経験を生かしてやってみませんか？と誘われました。

現在は、長柄公民館で毎年開催している子育てひろばでスタッフの一人として活動中。子育て世代のお母さんたちをサポートしています。子育ての悩み相談やネットワーカーの仕事は、子育ての悩み相談やネットワーカーの一人として活動中。子育て世代のお母さんたちをサポートしています。

母さんも多いと聞きます。一人で悩まず、一度子育てひろばへ遊びに来てください。だれもが気軽に参加しやすいように、スタッフ全員で協力して、明るく楽しい雰囲気づくりを心掛けています。



先日の子育てひろばではミニ運動会を行いました

地域のお母さんのため 子育て支援を続けたい



高瀬厚子さん
(下中野・1区)

たかせあつこ ●長柄公民館の子育てひろばで活動中の子育てネットワーカー。ほかの2人のスタッフとともに、地域の子育てをサポートしている。ネットワーカー歴は、今年で10年目。館林では訪問介護ヘルパーとして、お年寄りの生活をお手伝いしている。趣味は、散歩、スポーツ観戦など。

● 盛和会鼓組 ●

盛和会鼓組は、去年の夏に長柄公民館で開催された子ども和太鼓教室を卒業した子どもたちで、平成23年11月に結成しました。メンバーは、幼稚園・保育園の年少～小学6年生までの子ども18人。毎月原則2回、隔週で日曜日の午前9時30分～11時まで、長柄公民館で元気いっぱい活動中。

サークルでは邑楽太鼓盛和会の指導のもと、大人と同じ長胴太鼓を使って本格的に太鼓を学んでいます。現在産業祭や町民文化祭へ向け「ぶち合わせ太鼓」や「みやげ」などの曲を練習中。太鼓のたたき方だけでなく、あいさつなど礼儀も大切にしています。興味のある人がいましたら、見学に来てみてください。お問い合わせは、長柄公民館 ☎ 89-0123 へ。



「あすへひとこと」(邑楽町老人クラブ連合会・あすへひとこと編集委員会)は、邑楽町在住の
 お年寄りたちの貴重な体験談を、邑楽町あすへひとこと編集委員会が編集・発行したものです。

若い人たちに語り継ぎたい。そして、次の世代に残してほしい貴重な話しをお届けします。

お年寄りたちの貴重な体験談(第十七回)

あすへひとこと

思い出の味(キノコ)

昔はよかつたなあ。私とおやじは、口癖のようにこう言った。

私とおやじは、キノコ取りでは名人(?)といわれるほどの実績を持っていた。キノコ取りという

のは、ただ単にガサガサ山を歩き回るだけが能ではなく、そのキノ

コの生える代の特長を知ることが第一であり、第二に、その代を他人に知られないようにしなくては

ならない。したがって、その土地の生え抜きの者でないと、キノコ

の代は容易に探せない。もし、よそ者がまぐれに当たっても、す

で土地の者が取った後で、まともった収穫は望めない。足を棒にして

歩いた割には、収穫が少ないのはキノコ取りの遠征である。キノコ

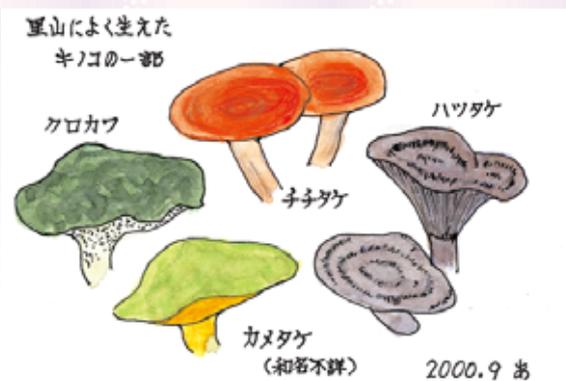
取りにある泣きどころは、ただそ

れだけのことなのである。

秋の味覚のはしりはハツタケで

あり、この代は広く、篠塚地区の大黒と、裏大黒、中野前地区の

松山などであった。イワシの空箱に並べて篠塚青果市場に持ち込む



と、五銭から十五銭で売れた。一箱三十本内外の詰めであった。

十月の中旬に入ると、シメジ、クロカワ、ナラタケ、カメタケな

どが至るところの山林に生え、クロカワは、前記前地区のぼてれ

ん橋の北、今の中学校の西山が最も多く、ここでは霜が降りるこ

ろまで収穫が続いた。ほかの地区では篠塚の大神宮山古墳群が松

山だったので、よい代であった。シメジも、この大神宮山の一部、

前大黒地内、篠塚城跡二の丸附近、篠塚正泉寺裏山が代であり、よく

生えた。昼なお暗い山道が何か所もあった昭和初期の篠塚地内、中

野のごく南部の地帯は、キノコの生えることでは随一とされていた。

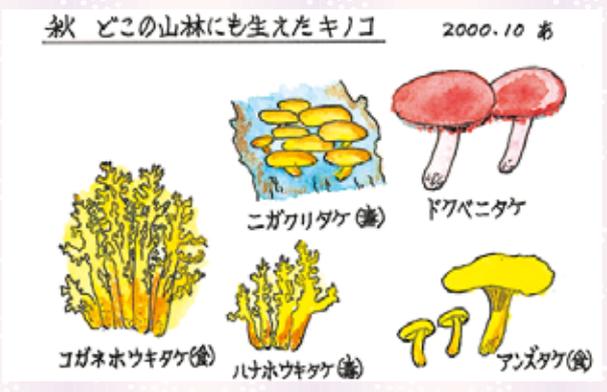
そのころ(昭和初期)は、一般にキノコに関心が薄かったので山

に入る人は少なく、それを読み込んで、私とおやじは先を越し、い

つも売るほど取りまくった。

あのクロカワのほろにが味は、もう五十年近くも味わう機会がないし、これからは昔語りとなり、

キノコを語る人は恐ろしくないだろう。



挿絵 故・厚川小一さん

広報おうら平成12年10月・11月号裏表紙「あしもとに故郷 ふるりのノスタルジア(9)、(10)」より

高齢者の語り第一集

「あすへひとこと(昭和六一年二月一日発行)」より

「思い出の味(キノコ)」
 故・厚川小一さん(寺中・二六区)

ひとりごと From editors

▼やっと朝夕が涼しくなってきました。いよいよ秋到来です。秋といえば、食欲?読書?スポーツ?最近、運動会を夏に行う学校もあるそうですね。▼運動会といえば、やっぱり町民体育祭。私は小学1年から、ほぼ毎年リレーに出ていました。足が速かったわけではなく、ほかに該当年齢の子がいなかったから。残念ながらよい成績は残せませんでした。慰労会の弁当が必ず「魚新」だったことや、慰労会後の肝試しなど、地区の人との楽しい思い出は残っています。▼今や選手不足で町内対抗野球大会(盆野球)に出られない行政区がある時代。町民総参加行事の町民体育祭がいつまでも続くことを切に願います。(秋)



秋、迫り来る
 (シンボルタワー)



Photo 高根澤高明(記録ボランティア)



広報おうら

ORA TOWN Public Relations

平成24年10月号 No.553

毎月1日発行



編集・発行 邑楽町役場企画課

〒370-0692 (住所記入不要)

☎0276-88-5511 (代表)

☎0276-47-5007 (企画課直通)

☎0276-89-0136

URL <http://www.town.ora.gunma.jp>

E-mail koho@town.ora.gunma.jp

邑楽町携帯サイト

2次元コード対応の携帯電話は、右のコードをご利用ください。読み取りができない場合はURLをご入力ください。

携帯用URL <http://www.town.ora.gunma.jp/k>

